

平成30年5月

第34号

曹洞宗中国管区 教化センターだより

ともに願い ともに寄り添い ともに歩む

《発行所》 曹洞宗中国管区教化(禅)センター

〒683-0802 米子市東福原1-1-22 ウエストビル402号室 TEL.0859-31-5161 FAX.0859-31-5163
HP. <http://kyouka-chugoku.com>

印刷/株式会社 メディアーツ
TEL.0848-36-5671



平成三十年度 布教教化に関する告諭

曹洞宗管長 江川 辰三

曹洞宗は、お釈迦様をご本尊とし、歴代の祖師が相承してこられた御仏の教えにしたがい、正しい信仰生活を送ることを主旨としております。

両祖として仰ぐ道元禪師と瑩山禪師は、坐禅を中心とした生活の全てが御仏の行いであり、その功德を普く人々に回らせなさいとお示しく下さいました。多くを求めてしまう生き方を見つめ直し、自己をつつしみ、ともに思いやり、分かち合う心豊かな社会の実現を、常に望んでおります。

今、私たちの心は不安に苛まれて止みません。絶えることない凄惨な事件や争いに胸を痛め、災害に涙し、他者との関わりに思い悩むような、苦悩に満ちた社会を生きております。こうした世の中にあつて、お釈迦さまと両祖さまは、いかにして心安らかに生きるかをお示しく下さっています。御仏の前に静かに坐り、ご先祖様に思いを寄せて掌を合わせ、身心を調えて、一仏両祖の教えを今こそ実践して参りましょう。

南無釈迦牟尼仏
南無高祖承陽大師道元禪師
南無太祖常済大師瑩山禪師

平成三十年度 布教教化方針

告諭に基づき、本年度の布教教化方針を次のように定めます。

一、一仏両祖のおとなえの普及に努めます。

私たちは、日々「南無釈迦牟尼仏」「南無高祖承陽大師道元禪師」「南無太祖常済大師瑩山禪師」とおとなえし、その御教えを相承し、心安らかに毎日の生活を送ります。

二、禅の実践にとりくみます。

私たちは、寺院内外を問わず、法要時など、様々な機会に坐禅を取り入れ「禅」の実践をすすめます。そして、「禅」の実践とは、「坐禅」のみならず、日々の私たちの生き方を示す物であり、その姿を通じて、行ずる事の大事さを伝え

三、あらゆる差別の撤廃と人権啓発の活動にとりくみます。

私たちは、菩薩の誓願のもとに、さまざまにかたちを変えてい

く差別やいじめ、虐待などの問題を直視し、その未然防止と差別撤廃・人権確立のための歩みを続け

四、ともに喜びを分かち合える平和な社会の実現をめざします。

私たちは、過去のあやまちと戦争の惨禍を忘れず、非戦を誓います。恒久平和実現のために、国や民族の垣根を越えた相互理解と協調による道をともに歩みます。

五、「地球環境をまもる全曹洞宗の運動」(グリーン・プラン)を継続していきます。

私たちは、自らが大自然とひとつであることを深く自覚し、未来の地球の姿を思い、自分だけでなく、周囲を大切にすることで環境に配慮した生活をいたします。

六、被災地支援を継続し、菩薩行を実践して生きます。

日本各地で発生している自然災害や東京電力福島第一原子力発電所などにより、依然として多くの人が悲しみと不安の中にいます。

私たちは、この現実を直視し、菩薩行を通して互いに慈しみあう社会、原子力に頼らない社会、そしていのちを生かしあう社会の実

現につとめます。

七、孤立する人びとと向き合い、支えます。

私たちは、年間自死者数が未だ二万人以上という状況を重く受け止め、遺族の苦悩に向き合います。自死者や孤独死などを出さないよう地域社会のネットワークを作り、人びとと関わり見守ることに努め、支えます。また、高齢化社会を見据え、地域での声の掛け合いを進めます。

八、寺院を地域社会の「絆を深める場」に活かします。

私たちは、積極的に地域社会へはたらきかけ、寺院を広く開放して人びととの絆をより強めてまいります。



統監挨拶

護国山国分寺 住職 長尾 武士



中国管区教化センター管内ご寺院様各位には、法務ご多忙の時節、ご健勝を祈念いたします。

本年も暖かくなると厳しい寒さとなった冬のことを忘れてしまいましたが、一月、二月は例年になく寒さが身に伝わる日々でした。一月十一日、新潟県は大雪で、新聞によりますと、JR信越線で、新潟発長岡行き四両編成の普通電車が、午後六時五十五分ごろ東光寺―帯織間の踏切で、積雪で動けなくなり、乗客四三〇人が車内に閉じ込められ、乗客は車内で一夜を明かし、電車は線路の除雪作業が終わった十二日午前十時半ごろ、約十五時間半ぶりに運転再開されたそうです。JRの説明では、降雪量が多く除雪が追い付かず、動くことができなくなり、乗

客を電車から降ろして避難させなかったのは、立ち往生した踏切は最寄り駅より約三百メートルも離れており「暗い中、外は雪が積もっており、安全を優先した」とのことです。

このニュースを、翌日にテレビで見ていると、乗客の方々が疲労困憊の中、不安な一夜を過ごしたので、さぞかしお疲れの様子で降りてくるものと思っていますと、家族の方が迎えに来ていらっしやったこともあるかもしれませんが、笑みがこぼれているかたも多数おられました。インタビュに答えた女子高生が「眠くて疲れましたが、乗客同士で助け合い、心が和みました。今はゆっくり休みたい」とほっとした様子で話していました。この乗客同士で助け合いということに興味をもち調べますと、この電車は木曜日の通勤・通学の帰宅時間でかなり混雑していたそうです。雪の影響で停車した際でも「間もなく動いて帰れるだろう」と思っていたのですが、いつまで経っても電車が動かない。次第にいら立った年配の方

が乗務員に「どうなっているんだ」と詰め寄る姿もあったようです。終わりの見えない状況の中で、日付が変わったところ、ある八十歳くらいの女性が、目の前に立っている高校生に声をかけて座席を譲ったところから、それからそれへと座席の譲り合いが始まり代わり番ここに座って疲れをとり、車内トイレのトイレットペーパーがなくなると、乗客同士でティッシュペーパーを融通し合ったり、携帯電話の充電器もみんなで使い回し、車内のコンセントから少しづつ充電したそうです。またその女性はみんなが暗くならないように、昔話や蓮根料理のおいしい作り方などを周りの方に語っていて笑いが絶えず、とても和気藹々だったそうです。お互いに助け合う、まさに布施行です。

布施行は、財物を施す以外に無財の七施があります。『雑法藏經』巻六にある「仏説きたまふに、七種施あり、財物を損せずして大果報を得ん」として「七種施の因縁」とも七通りの布施ができるという

のである。それは、眼施・和顔悦色施・言辞施・身施・心施・床座施・房舎施ですが、席を譲る床座施と、皆を笑顔にする和顔悦色施が、この電車の立ち往生という困難の状況を和ませる一因となったのです。最初にこの電車の中の女性の行為こそ無財の布施でしょう。とても心の和む話でした。

人は自分だけでは生きてゆけるものではありません。全ては天地万物のおかげと感謝する心があれば「私だけが座席に座っていればいい」という貪りの心がなくなり「布施といふは貪らざるなり」施しの心となって現れ、周りの人に喜びと安らぎを与えるのです。何はなくとも七種の布施が実践すれば、周りの皆さまも和ませることができ、その功德は測り知れません。是非布施行を皆様とご一緒に進めて行きたいと思えます。

最後に、今年度で二期目を迎えた教化センターの役員一同です。昨年以上のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

管 区 長 挨 拶

広島県宗務所所長

垣 井 龍 頭



新年度を迎え管内諸老師には益々ご健勝にてご接化の事と拝察申し上げます。

昨年の十一月六日には「安芸グランドホテル」にて平成二十九年度曹洞宗宗門護持会中国地区管区集会を開催致しました処、早朝又ご遠路にも拘わらず、百五十名の皆様のご参加を得まして盛会裏に終えることが出来ましたことは、偏に参加者皆様のご浄心の賜と、改めて感謝申し上げる次第でございます

す。

さて、世の中はまさに少子高齢化、過疎化が待ったなしの状況です。私たち宗侶としては今、当に「将来寺院をどのようなようにしたら存続させることができるのか」と言った大きな問題に直面しています。これは中国管内ご寺院様に於かれましても共通した喫緊の課題ではないかと存じます。

広島県宗務所に於いても例外はなく、兼務、無住寺院が二十七%にも及んでいます。中でも檀信徒数が少なく寺院維持運営に大変苦慮されているご寺院様には、兼務任職の任期を長くしてもらえないか、また義財金を減額してもらえないか等の

要望を度々お聞きします。本庁として、窮状を訴えておられる寺院様に対し経済的な負担軽減の観点から何とか考慮して頂きたいと存じます。

一方では寺院、僧侶不要論も唱えられる現代において、今こそ我々はコミュニケーションの入り口が開かれた「かかりつけ寺院」「かかりつけお坊さん」として、共に歩む役割を果たしていく必要を感じます。そのためには常に僧侶自身が人間の根本的な問いを持ち続ける事も肝要だと思えます。

これからも中国管区教化センターを中心として、共に布教活動の実践に努めてまいりたいと存じます。本年度も、引き続き

管区内御寺院諸老師には倍旧のご指導ご法援を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。



平成29年度 事業報告

4	4～5	教化センター前期連絡協議会	宗務庁
4	13	センター布教師協議会	広島市アークホテル 29年度教化方針・ラジオ放送・文化講座について
5	14	教化活動推進委員会	広島市ヒロデン 28年事業報告 29年度事業計画
5	中旬	センター報33号発行	中国管内のご寺院(約1,000ヵ寺)に郵送(兼務地不在の場合は未発送)
5	25	教化活動企画委員会	広島市アークホテル 教化資料、ラジオ放送の在り方
6	8	婦人会中国管区役員会	広島市ヒロデン 各宗務所婦人会代表(各会長など) 10月の研修会(於:山口県ホテルかめ福)での配役分担について
6	15～16	青少年教化指導者研修会	広島市 アークホテル広島駅南 講 師 ◎全国青少年教化協議会 主幹 神 仁 師 講義Ⅰ『現代社会における子どもたちの諸相』 -チャイルドラインの活動から見えてくるもの- 講義Ⅱ『コミュニケーションワーク』 -子ども達のセルフエスティームを高めるために- ◎広島県宗務所 人権擁護推進主事 吉津 賢秀 老師 人権学習『日常における人権問題』 ◎寺越コンピューター会計事務所 代表 寺越 慎一氏 講義Ⅲ『宗教法人の税務と会計』 受講者51名
7	3～4	管区役職員人権啓発研修会 人権啓発に関する協議会	広島市 サンルート広島 講 師 ◎部落解放同盟呉支部 支部長 谷口吉俊 氏 本庁、センター、管区長、各宗務所の人権擁護推進委員
7	27～28	子ども禅インサマーセミナー	本年度中止
9	4～5	センター布教協議会・講習会	松江市 佳翠苑 皆美 講 師 ◎大本山永平寺前布教部長 新潟県東龍寺住職 渡邊 宣昭 老師 講義Ⅰ『法話は同事業 -法話原稿の作成と実演の留意点 告諭,教化方針に触れながら-』 講義Ⅱ『法話は同事業 -布教教化と行仏道自らの気づき, 実践を通して-』 ◎在日本大韓国民国民団 島根県地方本部顧問 李 燮潤 氏 人権学習『生きる』 受講者88名
9	27	教化資料等企画制作委員会	広島市アークホテル ラジオ原稿の点検、校正
10	12	教化活動推進委員会	広島市ヒロデン 平成29年度報告 平成30年度計画 その他
10	16～17	教化センター後期連絡協議会	宗務庁(主監会)
10	24～25	曹洞宗婦人会中国管区研修会	山口市 ホテルかめ福 講 師 ◎庭園デザイナー 神奈川県建功寺住職 柁野 俊明 老師 講演『現代にいかす禅』 ◎山口県人権啓発センター事務局長 川口 泰司 氏 講演『部落差別は今』 ◎筆跡診断士 オフィスりるも代表 山上りるも 氏 講演『ガンが教えてくれたこと』-病気と向き合い始まった人生- ◎浄土宗西山禅林派 法界寺住職 辻田 昌次 師 講演『弾き語り法話「いのち」を唄う』 参加総数 約300名
11	6	管区護持会集會	広島県廿日市市 安芸グランドホテル 講演 ◎奈良県平等寺住職 丸子 孝法 老師 「発願利生の道 とともに願い とともに寄り添い とともに歩む」 ◎平和記念資料館館長 志賀 賢治 氏 「記憶の継承」
11	30	禅をきく会	米子市 米子市文化ホール 講 師 ◎シンガーソングライター やなせ なな 氏 「支え合ういのち」-やなせ なな コンサート&トーク- 参加総数 約550名
1	31	布教委員長会議	広島市サンルート ◎29年度事業報告 30年度事業計画 管区長 各宗務所役員 センター
2	1	教化活動企画委員会	広島市アークホテル 教化資料、ラジオ放送の在り方について協議
2	2	教化資料等企画制作委員会	広島市アークホテル ラジオ原稿の点検、校正

毎週のラジオ放送〔広島市 RCCラジオ中国放送制作〕

毎週土曜・日曜日、朝5時台～6時台のAMラジオ放送『今日のこころ 私のこころ』→5分間枠中国5県計4局で放送中。
※放送に際し、企画制作委員会を年3回、ラジオ収録を毎月1回実施

岡山県宗務所だより

事業報告

教化主事 山本 道雄

《檀信徒地方研修会》

十月二十五日、高梁市総合文化会館において、約六百名の参加を得て、落語家の露の新治師匠をお迎えして、檀信徒地方研修会を開催しました。一部では「新ちゃんのお笑い人権学習」と題して講演があり、二部では高座落語楽しんでいただきました。

《現職研修会》

六月二十七日、二十八日、愛知学院大学教授川口高風先生をメイン講師にお迎えして、現職研修会を開催しました。愛知学院卒業生も多く、薬石では先生との話に花が咲きました。

《第二十九回親子参禅》

三月三十日、新見市楊柳寺を会場に開催しました。参加者は六十二名（小学生以下三十名）年輩の方から大学生、幼稚園児まで、年齢幅の広い方々で楽しい会になりました。

《寺族会》

十月十九日、二十日、愛知専門尼僧堂で参加者十四名は、青山俊董老師のもと行事綿密に行いました。

《婦人会》

六月八日、マービーふれあいを会場に、高梁市万福寺住職翁泰仙老師を講師に総会並びに研修会を開催しました。

《梅花流岡山県奉詠大会》

十月三十一日、哲多総合センターにおいて開催しました。梅花講員の高齢化が進んでいます。今大会参加の九十才以上に贈られた奨励賞は四名でした。

広島県宗務所だより

平成二十九年行事活動報告

教化主事 稲角 道雄

《檀信徒地方研修会》

二十九年度より南北合同開催となり、十月三十一日、第九教区庄原市東城町「東城文化センター」にて開催。人権学習として、渡辺祥文老師「原発事故から七年の福島」・村上和光老師「今、ここに生きる」と題して各々法話をいただいた。約三百五十名の参加。

《檀信徒本山研修会》

十一月二十日～二十二日にかけて、約七十名の檀信徒と共に大本山總持寺様にて研修し、下山後は、龍華院様に参拝研修
三十年度は、大本山永平寺様にて研修予定。

《宗務所人権学習・現職研修会》

十一月二十七日～二十八日にかけて、人権学習会は、浄土真宗本願寺派、藤井聡之師をお招きし「過去帳開示問題から個人情報保護に至るまで」と題して講演をいただいた。宗務庁統一テーマとして、菅原研州師より「続坐禅会を始めるために」で講演をいただき現職研修には、中野重孝老師をお招きし「布教について」と題して講義を拝聴致しました。

《梅花》

全国大会には、約七十名の講員等参加で大本山永平寺様にて献詠。県大会は、六月二十七日に三原市「にいたかホール」にて創立五十周年記念大会を開催し講員約四百五十名参加。清興とし、トークコンサートを「やなせなな様」にお願い。三原市やっさ踊りで締めくくった。

《寺族会》

五月三十一日総会、秋季研修会は、広島市で開催。原爆資料館見学、語り部さんのお話を聞く。三十年度は寺族会創立記念として、青山俊董老師をお招きし講演いただく予定。

山口県宗務所だより

平成二十九年行事報告

人権擁護推進主事 石井 龍祐

当宗務所では副所長が人権擁護推進主事を兼任していましたが、平成二十九年より専任で務めさせて頂く事となりました。何卒宜しくお願い申し上げます。

平成二十九年度の主な事業と致しましては、五月二十九日、宗務所護持会総会を開催。併設して三重県法光寺住職伊藤訓之老師を講師にお招きして人権公開講座を開催致しました。六月六日～七日、現職研修会を開催。富山県光巖寺住職今村源宗老師をお迎えして「袈裟功德の巻」のご提唱を賜りました。六月十二日～十三日、滋賀県青岸寺寺族永島慧子氏をお招きして寺族会研修会を開催。六月二十四日、梅花流山口県奉詠大会を開催。「梅花流創立六十五周年記念奉詠大会」として静岡県然正院住職安田光彰師範をお迎えし、特別講演を頂きました。八月二十九日、萩市亨徳寺を主会場に徒弟研修会を開催。十月二十九日～十一月一日、大本山永平寺名古屋別院を中心に本山研修参拝を実施致しました。

その他、通常の事業に加え今回特別に本年一月十八日～二十四日に「ミャンマー仏教遺跡参拝・香港の旅」を企画実施致しました。

世界三大仏教遺跡の一つ「バガン」の仏教遺跡群に沈む夕日が大変印象的でした。また、第二次世界大戦に置ける戦没者の慰霊法要を二箇所で行い、参加者の中にご兄弟が戦地より生還されて慰霊の為に今回参加した方がおられ、大変意義深い旅となりました。

二月二十一日～二十三日には、沖縄人権現地研修会を開催。カリスマスポーガイドとして注目されている崎原真弓さんをガイドにお迎えし、現地にて平和学習を致しました。

鳥取県宗務所だより

梅花流第五〇回記念奉讃大会実施

梅花主宰 谷上 元康

去る二月十二日、とりぎん文化会館梨花ホールに於いて、鳥取県梅花流第五〇回記念奉讃大会を行いました。今回は歌手の南こうせつさんをお呼びし、清興を多くの方に楽しんで頂き、少しでも梅花流詠讃歌に関心を持って頂くという考えに至りました。

前日、当日と降雪に見舞われ、どうなる事かと案じましたが、無事に開会できました。参加人数千二百余名という近年希にみる大勢の人で埋め尽くされ、例年以上の活気が館内に満ち溢れていました。

登壇奉詠では、多くの人の前でも物怖じせず、各教区とも堂々と練習の成果を披露されました。凛とした中にも、温もりのある歌声が心に響き渡りました。仏さまの見守られる中で個々を一つにまとめ行じる奉詠の姿は、仏道に寄り添う尊き像として眼に映りました。

午後より清興が始まり、南こうせつさんが往年の名曲と梅花流の為に作られた二曲を交えながら熱唱されました。大分県の曹洞宗のお寺で生まれ育ち、その当時の思い出を話題に出され、涙あり、笑いありと非常に楽しい時間を与えて頂きました。大会も大盛況のもと、無事に終わる事ができました。

後日、「とても良い記念大会でした。」と沢山の講員の方々から好評をいただきました。南さん作詞作曲の『まごころに生きる』の歌詞の通り、喜びも悲しみも重ねつつ、今を大切にしてお互いを敬い合い共に歩いていきたいものです。

島根県第一宗務所だより

宗務所運営について

庶務主宰 堅田 俊彦

教化関連事業として、六月は檀信徒本山研修会・特派布教師巡回、七月は藤田一照老師をお招きしての現職研修会、十月は檀信徒研修会、十一月は寺族研修会、二月に島根県布教講習会を開催。

梅花関連事業として、五月に福井県にて開催の梅花流創立六十五周年記念奉讃大会、十月は梅花流特派師範巡回講習会、島一奉詠大会、二月は梅花流検定会を開催。

人権関連事業として、五月に人権擁護推進委員研修会、八、九月に宗務所人権学習会、現職研修会・寺族研修会・島根県布教講習会にてそれぞれ人権学習を行いました。各事業共に各方面のご協力をいただき充実した事業展開が出来ました。

島根県では過疎化が顕著にみられ、管内寺院における本務寺割合が減少し、各事業への参加者の減少傾向が見られます。その中で、宗務所職員同士で知恵を出し合い、情報を共有し、事業展開におけるモチベーションを高める模索をしてきた年度であったと考えます。

次年度も現状を踏まえ、共働・相互啓発をしていく事業を展開行きたいと考えます。

島根県第二宗務所だより

宗務所活動の概略

教化主宰 板倉 省吾

島根県第二宗務所は、七月に「しまね縁結びサポート企業」に登録されました。これは、官民一体で県内の結婚相談や婚活イベントを推進する一般社団法人「しまね縁結びサポートセンター」からの情報提供を、企業や団体が窓口となつて従業員や関係者に周知し、イベント交流会や研修会などの参加を促すほか、自社・自団体でイベント交流会を企画した際には支援協力を得られるというもので、県内の二二一の企業・団体が加入しています(平成三十年三月現在)。曹洞宗では、宗門関係者の縁結び支援の企画として「ほほえみの集い」が実施されており、一定の成果があるとの報告を得ております。本庁のこうした事業と連動して、補完的に当地での関連イベントを推進することで、事業体としての宗務所活動の活性化を志向するものです。

十月二十九日(日)には、宗務所主催の坐禅会「禅(しずか)な日曜日(のつどい)」が開催され、定員を超える十六名の方々に参加いただきました。この企画は「ブルーマンデー」の払拭を目的に、松江市内と中心に活動している二人の個人事業主の方との共同で行われ、金折委子さん(ヨガ&足もみピース)主宰指導によるアンシー、Sストレッチヨガで身心を調整してから、青少年教化員の指導による坐禅の後、坂根美希さん(おむすびころりん)主宰調理による菜食膳をいただきました。

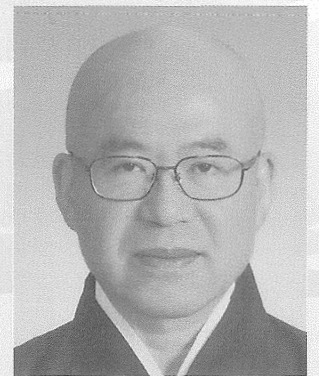
十一月九日開催の梅花流地方奉詠大会(於 安来市民会館アルテピア)では、特別奉詠として真言宗金剛流と隠岐の島曹洞宗寺院による大和流の奉詠(隠岐の島には梅花流が伝播していません)が行われました。

十一月三十日開催の檀信徒地方研修会(於 島根県民会館中ホール)では、「食(く)丹念(たんねん)に生きる」と題して、料理家で随筆家の辰巳芳子さんの活動を取り上げ、映画『天のしずく』辰巳芳子さんの「いのちのスープ」を上映した他、受講者約五百名に、辰巳先生から指導を頂き、青少年教化員や寺族会会員が調理した「玄米スープ」が、参加者約五百名に振る舞われました。

紙上法話

「心の中心」

センター布教師 岡山県 中興寺住職 野口祥善



今日、日本は豊かさに満ち、立派な家を建てる方はたくさん居りますが、はたしてその中心というものがあるでしょうか。また解っているでしょうか。かつての日本の家庭ではこのような良い習慣がありました。それは朝出かける前には先祖に対して一日の無事と、心を謙虚にして精一杯働くことを誓って出かけ、帰った時には仏壇の前に行って、無事安全と命を充実することができた感謝の報告をしたものでした。また、ご近所や親戚から戴き物をした時などもおじいさんやおばあさんがまずご先祖にお供えをして報告してきなさいと指示したものです。それからおすそ分けを頂戴しましょうといういただいたものです。

そのように家族のみんなが心をつにする処、心をつにして家庭を築いていく家の中心、そこがご仏壇、神棚であり、つまりお祭りする処であります。祭るといふ事はそのように家族全員の心をつにして清らかな心を祭るといふことなのです。今日の私たちの命へ伝え繋げて下さった先祖に対して感謝し、それと同時に今と一緒に生き、生かさせて頂き下さっている全宇宙の命に感謝して手を合わせる処なのです。そしてその中心に仏教の元祖であるお釈迦さまが居られるのです。

お釈迦様の一番肝心な教えは縁起の教えであります。私というものが時間的にも空間的にもあらゆるすべてのものに支えられて生かされている存在であるということです。支えていただいているすべ

ての存在に感謝できる心を持つる人は、簡単に人を傷つけたり殺したりすることは出来ずです。いわゆるお陰様という言葉に裏打ちされるように見えない支えに対する感謝の心がかつての日本人の心には沁みついていました。大和の国の頃から聖徳太子が仏の教えを国造りの根幹として十七条の憲法を定めてより、仏教の精神は日本文化の底流を支え続けてきたのです。茶道書道華道、剣道柔道弓道など「道」がつく文化の全てに仏教の教えが根底にあり、花開いたものです。それは知らず知らずのうちに人の心を豊かに育てた人としての道を学ばせることに大いに貢献してきたものです。

道元禅師は若き修行時代に二十四歳にして中国へ渡り、悟りを得て二十八歳にて日本へ帰って参りましたがその時に言われたのが「空手還郷」というお言葉でした。「私は中国でお悟りを得て帰って参りましたが特別なおみやげは一切ありません。空手で帰って参りました。ただし「眼横鼻直」なる事を知りました。」と答えられたのです。つまりすべての物事を真直ぐな心で見、ありのままの姿で、真直ぐな命で生きることが出来るようになったという答えだったので。そしてその在り方とお姿こそが仏道そのものであると表現されたのです。

お釈迦さまより道元禅師様そして歴代の祖師方へ、またそれを信じ支えられて善根を積み重ねられた祖先方を心の中心としてしっかり勤めていきたいものです。

青少年教化指導者研修会

研修会に参加して



神 仁 老師

平成二十九年六月一五日から十六日にかけて、アークホテル広島駅南にて、青少年教化指導者研修会が行われました。中国地方の青少年教化員が六十人ほど集まり参加させていただきました。私は青少年教化員を務めさせていただきました。二期目の四回目の参加になります。毎年、多方面の講師の方で誠に勉強になる研修会であります。一日目の講義Ⅰでは、全国青少年教化協議会主幹である神仁老師による『現代社会における子どもたちの諸相』〜チャイルドラインの活動から見えてくるもの〜

との講義で、現代の子供たちの権利、貧困、どのような悩みを多く持っているのか、それを聞く受け手の姿勢などを多くの資料からチャイルドラインの大切さを学びました。特に、神老師が現在ベナレスに開かれている学校の話のスライドを使って行われたのは、興味を沸きました。講義Ⅱも神仁老師による『コミュニケーションワーク』〜子供たちのセルフエスティームを高めるために〜との講義で、臨床仏教師でもある神老師に指導いただき、二人一組になりコミュニケーションワークの実践を行いました。セルフエスティームと言うのは、自尊心＝自分自身を価値ある者だと思おう心でそれを



吉津賢秀老師

高めるためには、聞く手の姿勢が大切であると学びました。人権学習では、広島県宗務所人権擁護推進主事である吉津賢秀老師に『日常における人権問題』等の講義を受け、様々な人権問題について詳しく学びました。二日目には講義Ⅲコンピューター会計事務所の代表である寺越慎一氏に『宗教法人の税務と会計』との題目で、寺々宗教法人に課税されるものさされないものを詳しく教えていただきました。最後に全体会、閉講式を行い研修会を終えました。



ライン子供たちと接する、受けての姿勢の重要さを学ぶことができました。今後も研修会を糧に精進していきたいと思います。



寺越 慎一 氏



平成二十九年六月十五日〜十六日
於 広島市アークホテル広島駅南
メイン講師 神 仁老師
広島県 地蔵寺 住職 野間英生

センター布教協議会・講習会



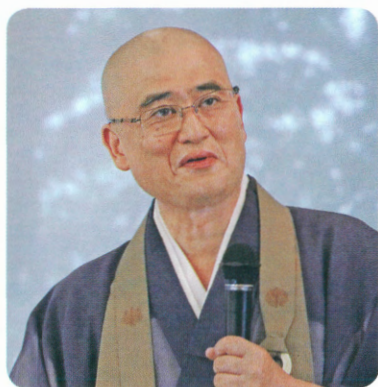
島根県長壽寺住職

吉長 雅昭

平成二十九年九月四日～五日
於 松江市玉造温泉 皆美

布教協議会・講習会 に参加して

私は島根県の中山間地域の寺に住持しております。最近のテレビやニュースを見聞きする時、国内外を問わず起こる天変地異や異常気象、政治的な混乱などを見るにつけ「自分に何ができるのだろうか？」と考えずにいられないのは私だけではないと思います。そのような中、本年度の「センター布教協議会・講習会」が地元松江市で開催されると聞き、数少ない勉強



渡邊宣昭 老師

強の場をいただいたとの思いで参加させていただきました。

この度はお二人の講師が招かれていました。お一人は「大本山永平寺布教部長」でいらっしゃった新潟県東龍寺住職・渡邊宣昭老師です。『法話とは同事行』と題され、告諭や教化方針に触れながら、又法話実践を通してご教導くださいました。

そしてもうお一方は、人権学習の講師として「在日本大韓国民団 島根県地方本部顧問」李燮潤氏です。『生きる』と題して、ご自身の人生を、飾る事無く、私たちに語りかけてくださいました。その中で一番印象に残った事は「誇り」でしょうか？李さんは、職業訓練校で誰にも負けない技術を身につけられたのですが、一流と言われる企業には採用されなかったそうです。いや、学校から推薦してもらえなかったそうです。理由は「国籍」。そのお人柄や技術とは何も関係無いことが



李燮潤 氏

障壁となってしまったそうです。しかし、李さんは諦めること無く、ご自身で道を切り開かれました。又、応援や協力、理解をしてくださった方々にも出会うことが出来て、現在ではご自身の会社をお持ちになり発展させていらっしゃいます。

この度の講習会では「こちらの思いがどうやったら相手に伝わるのか」という事を学ばせていただきました。そしてその伝えたい相手が「どのような思いでいるのか？」というように思いを寄せなければならぬ事も学ばせていただきました。



禅をきく会

講師

やなせなな氏



センター主催

平成二十九年十一月三十日
於…米子市

「米子市文化ホール」

●鳥取県 正福寺
法灯護持会 米村一三

去る平成二十九年十一月三十日、米子市文化ホールで開催された曹洞宗中国管区教化センター主催の「禅をきく会」に、境港、正福寺の関係者四名で参加した。会場はほぼ満席の参加者で賑わいのある催しとなった。

中国管区教化センターの長尾武士統監の開会挨拶で幕開けし、「いす坐禅」の作法についての講習があり、会場の全員が講師のお話に耳を傾け実践する。

続いて当日のメインである講演へと進行する。講師は浄土真宗本願寺派僧侶であり、シンガーソングライターでもある、やなせななさんが「支えあういのち」と題してコンサート&トークを展開される。冒頭、オリジナル曲の「七夕」のボーカルは、優しく暖かく、聴き入る私たちを一緒にやなせななさんの世界へと引きこむ魅力ある歌声だった。

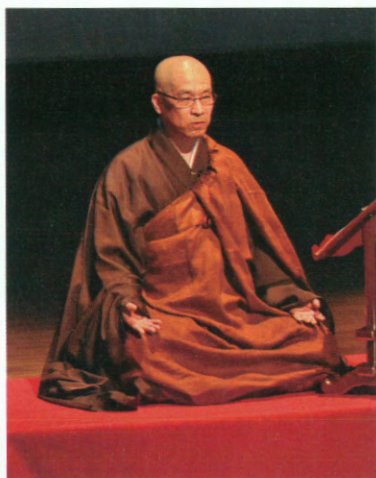
やなせさんは奈良県の寺院に生まれ、シンガーソングライ

ターとして活躍し、多くのアルバムを出す傍ら、ラジオ番組のDJとしてもまた僧侶として幅広い活躍をされており、全国で五百か所での講演を行い、成功を収めておられるとのことであった。

第一部では、彼女のボーカルを披露しながら、生い立ちやボーカリストを目指したこと、二十九歳で子宮体がんを発症し、絶望の淵をさまよい、そして様々な出会いにより救われたことのお話になった。そのト

クは体験からにじみ出たものであり、聞く人は大きな共感を抱いたのではないかと思う。

第二部では、曹洞宗と他宗の復興支援活動で出会った東北にある曹洞宗寺院の僧侶たちと出会い、共に活動して大きな教えを頂いたことや、様々な悲しみを胸にした人々との交流を、我がこととして取り組む彼女の活動に大きな感動を覚えた講演であった。



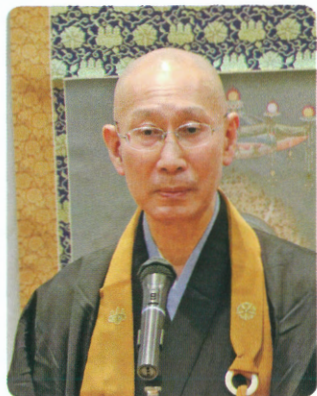
曹洞宗婦人会中国管区研修会



平成二十九年十月二十四日～二十五日
於 山口市湯田温泉 ホテルかめ福
山口県長徳寺 寺族 弘中正子

中国管区教化センターの皆様、山口県荒木玄修宗務所長様、職員の皆様、御協力を賜りまして、曹洞宗婦人会中国管区研修会を、十月二十四日、二十五日湯田温泉「ホテルかめ福」に於いて出席者二九四名で開催しました。数日前から台風接近ということで本部婦人会高野会長様にも随分御心配をおかけしました。

前年度より準備の会議を山本昌男教化主事様の御指導のもと、私は初めて役員として出席させて頂き、この研修会に携わることになりました。そして当日私は受付の担当で「会員の誓い」に寄り添うよう心にとめ、参加者の皆様にはコーヒール、お菓子等を準備しお迎えました。



榎野俊明老師



川口泰司氏

一日目は厳かな感動ある開会式が終わり、先ず、テレビ「あさイチ」にもご出演され、庭園デザイナーでもある神奈川県建功寺御住職榎野俊明老師に「現代に活かす禅」と題し、ご講演頂きました。日常生活そのものが禅であること、人生に余った人生などないこと、人間として所作を調べて歩んで欲しいこと、禅は一生懸命すると良い縁が結ぶることなど、やさしく、わかりやすい講演を頂きました。続いて山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司氏に「部落差別は今」と題しご講演頂きました。ご自身が体験されたこと、またインターネット上での部落差別についての現状などご講演いただきました。差別問題解消の為に全国各

地で研修会を開催して理解を求め努力をされておられます。

一日目終了後の薬石では、清興として二カ寺の会員による日本舞踊と、楽器の演奏と歌で和やかな薬石となりました。二日目の朝には中国管区教化センター統監長尾武士老師による坐禅指導、法話でしたが私は参加することができなかつたのがとても残念でした。

二日目の講演ではまず、筆跡断士山上げるも氏に「ガンが教えてくれたこと」と題し、両親をガンで亡くされ、ご自身もガンの病気に苦しんだ経験を踏まえ、生き方、食事の大切さなど病に打ち勝つための具体的なお話いただきました。続いて山口県浄土宗法界寺御住職辻田昌次老師による「弾き語り法話『いのちを唄う』」と題



山上りるも氏



辻田昌次老師

しご講演頂きました。命や人生を主題として、心やさしく、大切な命について歌とギターで弾き語りをされ、また参加の会員も一緒に歌いました。二日間拝聴させて頂き、その一瞬一瞬の幸せな時を会員と共に感じ、研修会を無事円成する事ができました。またこの研修会の会場にて頂戴いたしました大切な温かい義援金と古布、お茶、お菓子等を熊本県地震の被災地の婦人会へ送らせて頂きました。陰ながらではありますが役員の一員としてこの度の研修会にご協力頂きました関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。

管区事業報告

曹洞宗 中国管区・人権擁護推進本部共催

管区内宗務所・教化センター

役職員等人権啓発研修会

七月三日、四日両日、広島県宗務所主管による中国管区内の人権啓発研修会を開催しました。

初日は広島県呉市内に於いて現地学習会を開き、部落解放同盟呉支部、谷口支部長より「呉支部環境改善の歩み」と題しお話をうかがいました。当時被差別地区には人の嫌う忌避施設を多く集中させられ、また急傾斜地に民家が密集しており、豪雨による水害で多くの死者が出るなど生活環境は劣悪なものでした。こうしたことから環境改善の要求がやがて部落解放運動につながり徐々に環境改善がなされ、また同和問題啓発学習など教育の面も進むことになりました。

地区内の現地学習では西尾かづえ女性部長のガイドにより火葬場跡や急傾斜地に立つ住宅など当時の痕跡を見ることができました。部落差別の現実を直視し意識の中から忘れることのないようにすることが部落差別完全解放につながると感じた現地学習会でした。

翌日は、広島平和公園の原爆慰霊碑前で死没者慰霊法要後、資料館の見学をしました。資料館の展示品は原爆被害の恐ろしさや惨状を今に伝えるものでした。資料館では以前オバマ元大統領が来館されたこともあつてか多くの外国の方も来館されており真剣に展示資料を見学されていました。志賀館長より資料の一つ一つには人々の苦しみや悲しみを訴えているものであり、核兵器のない平和な世界を実現しなければならぬと講演を受け研修会を閉じました。



管区護持会集会

平成二十九年十一月六日、安芸グランドホテルにおいて百四十四名の出席の下「曹洞宗宗門護持会中国地区管区集会」を行いました。



人権学習として、平和記念資料館館長 志賀賢治氏を講師にお迎えし、新しく生まれ変わる平和記念資料館の展示物・展示方法でのご苦労をご講演いただきました。平和の大切さを痛感致しました。休憩を挟み、宗侶は級階査定の説明会、護持会の皆さんは丸子孝法老師のご講演を聴きました。



志賀賢治氏

布教委員長会議

平成三十年一月三十一日、二月一日の日程にてホテルサンルートで開催いたしました。宗議会議員、教化センター役職員、各宗務所所長、職員の方々が参加し、平成二十九年度管区行事報告、決算報告並びに監査報告がなされ続いて平成三十年度行事計画(案)、予算(案)が上程されそれぞれ承認となりました。



平成30年ラジオ法話「今日のこころ 私のこころ」放送予定日

回数	放送日	県名	寺院名	担当者	役職等
497	4月7日、8日	広島県尾道市	運西寺	坂上 興道	センター布教師
498	4月14日、15日	山口県山口市	長徳寺	河谷 正也	センター布教師
499	4月21日、22日	鳥取県倉吉市	正明寺	白澤 和敬	センター布教師
500	4月28日、29日	島根県益田市	西禅寺	小川 裕史	センター布教師
501	5月4日、6日	島根県松江市	安養寺	大野 道源	宗務所梅花主事
502	5月12日、13日	岡山県津山市	長安寺副	久保 泰道	宗務所布教師
503	5月19日、20日	広島県神石郡	宝泉寺	野村 俊英	
504	5月26日、27日	山口県周南市	真福寺副	大野 泰生	宗務所布教師
505	6月2日、3日	岡山県真庭市	西福寺	山田 良天	教化指導員
506	6月9日、10日	山口県萩市	海潮寺副	木村 延崇	
507	6月16日、17日	鳥取県鳥取市	譲傳寺	平澤 峻山	
508	6月23日、24日	島根県浜田市	平等寺	仲下 弘道	教化指導員
509	6月30日、7月1日	島根県江津市	寶福寺	森山 容光	
510	7月7日、8日	鳥取県米子市	周禅寺	内田 至昭	鳥取県青年会長
511	7月14日、15日	山口県下関市	福昌寺	清成 良知	
512	7月21日、22日	広島県府中市	松林寺	英 純光	宗務所布教師
513	7月28日、29日	島根県出雲市	観音寺	野村 篤人	教化指導員
514	8月4日、5日	広島県世羅郡	積善寺	面壁 裕昭	教化指導員
515	8月11日、12日	岡山県新見市	楊柳寺	青砥 優璋	
516	8月18日、19日	広島県府中市	潮音寺副	久我 孝龍	教化指導員
517	8月25日、26日	山口県山口市	西宗寺	西村 和茂	
518	9月1日、2日	鳥取県鳥取市	龍松寺	田原 弘元	
519	9月8日、9日	島根県益田市	西福寺	岡村 充浩	
520	9月15日、16日	島根県仁多郡	玉雲寺	曾根 慎吾	教化指導員
521	9月29日、30日	島根県松江市	吉祥寺	梶田 宗芳	

※上記一覧の予定は変更する場合がありますので御了承ください。

ラジオ局	地域	周波数	曜日	放送時間
RCC(広島)	広島市	1350 kHz	土曜日	6:25~6:30
	福山市・三原市・府中市	1530 kHz		
	三次市・庄原市	1458 kHz		
KRY(山口)	山口市	1458 kHz	土曜日	5:10~5:15
	萩市	1485 kHz		
	下関市・岩国市	918 kHz		
	周南市・須佐町	765 kHz		
RSK(岡山)	岡山県	1494 kHz	日曜日	6:10~6:15
BSS(山陰)	鳥取市・出雲市・益田市	1431 kHz	日曜日	6:45~6:50
	倉吉市・江津市・浜田市	1557 kHz		
	米子市・松江市・境港市	900 kHz		
	大田市	1485 kHz		

曹洞宗ラジオ法話放送
「今日のこころ 私のこころ」
放送日のご案内

曹洞宗ラジオ放送「今日のこころ 私のこころ」

ラジオ法話集 2017年版

《4月～18年3月放送分》 53話収録



この度、1冊実費1,000円(送料込)で頒布いたします。
曹洞宗中国管区教化センターまでお申し込みください。

お知らせ

センター布教協議会・講習会

- 日 時 平成30年9月4日(火) 正午受付
13時開講～5日(水) 正午まで
- 会 場 浜田市 ワシントンホテルプラザ
- 講 師 千葉県廣徳寺住職
元特派布教師
石川 光学 老師
- 参加費 14,000円
- 対 象 布教師・宗門僧侶
- 申込先 各宗務所
- お問い合わせ先 教化センター

教化指導員研修会

- 日 時 平成30年6月5日(火) 正午受付
13時開講～6日(水) 正午まで
- 会 場 浜田市 ワシントンプラザホテル
- 講 師 東京都 正山寺住職
前田 宥全 老師
- 参加費 14,000円
- 対 象 教化指導員
- 申込先 教化センター
- お問い合わせ先 教化センター

中国管区内センター布教師並びに宗務所布教師のご紹介 (敬称略)

宗務所	役 職	寺院名	氏 名	郵便番号	住 所
岡 山	センター布教師	中興寺	野 口 祥 善	714-1415	井原市美星町星田7171
	宗務所布教師	少林寺	清 涼 晃 輝	709-4606	津山市中北上1150
		長安寺副	久 保 泰 道	708-0045	津山市西寺町52
広 島	センター布教師	運西寺	坂 上 興 道	722-0202	尾道市原田町梶山田770
	宗務所布教師	松林寺	英 純 光	729-3211	府中市木野山町956-1
		萬福寺	高 橋 道 英	727-0003	庄原市是松町227
山 口	センター布教師	長徳寺	河 谷 正 也	754-1101	山口市秋穂東7052
	宗務所布教師	龍福寺	林 達 哉	753-0093	山口市大殿大路119
		法明寺	藤 田 和 彦	753-0011	山口市宮野下3303
		妙寿院	中 村 大 真	747-0344	山口市徳地八坂1242
		真福寺副	大 野 泰 生	746-0062	周南市福川中市町6-27
		華嚴寺	磯 部 誠 司	746-0012	周南市政所1-16-16
		大泉寺	横 山 宗 賢	742-1514	熊毛郡田布施町別府579
		周鷹寺	斎 藤 周 三	759-3611	萩市大井3243
		南湘院	椿 正 春	759-1511	山口市阿東徳佐上2050
直指院	田 村 光 雄	742-1107	熊毛郡平生町曾根2330		
鳥 取	センター布教師	正明寺	白 澤 和 敬	682-0605	倉吉市福富312
	宗務所布教師	寶泉寺	松 本 道 宏	680-1442	鳥取市吉岡温泉町670
		山名寺	平 野 俊 堂	682-0801	倉吉市巖城956
		梅翁寺	倉 瀧 英 信	683-0006	米子市車尾5-7-50
		長寿寺副	古 川 和 彦	683-0337	西伯郡南部町落合516
		同慶寺副	大 西 基 道	683-0011	米子市福市1241
島根1	センター布教師	西禅寺	小 川 裕 史	699-5122	益田市本賀賀町5
	宗務所布教師	慈雲寺	引 田 佳 山	694-0064	大田市大田町大田口678
		長久寺	樋 谷 雅 豊	695-0023	江津市二宮町神村1725-8
		妙義寺	永 見 宏 樹	698-0017	益田市七尾町1-40
島根2	センター布教師	弘長寺	森 田 裕 光	699-0404	松江市宍道町東来待854
	宗務所布教師	松源寺	佐 瀬 宏 洋	692-0011	安来市安来町1446
		永昌寺	門 脇 直 哉	692-0212	安来市伯太町西母里78
		玉雲寺副	曾 根 慎 吾	699-1434	仁多郡奥出雲町佐白404
		養善寺副	西 古 孝 志	699-1343	雲南市木次町湯村900





恒規法要等の法話のご依頼などございましたら各県宗務所もしくは教化センターまでお問い合わせください

平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

月	日	行 事	主 催	備 考
4	9(月)～10(火) 12(木) 19(木)	全国教化センター前期連絡協議会 教化活動推進委員会 センター布教師協議会	宗務庁 センター センター	宗務庁 広島市 ホテルニューヒロデン 広島市 アークホテル広島駅南
5	上旬 25(金)	中国管区教化センター報第34号発刊 教化資料等企画制作委員会	センター センター	広島市 ホテルニューヒロデン
6	5(火)～6(水) 19(火)	教化指導員研修会 婦人会中国管区役員会	センター 婦人会	浜田市 ワシントンホテル 広島市 ホテルニューヒロデン
7	4(水)～5(木) 19(木) 25(水)～27(金)	管区役職員人権啓発研修会 人権啓発に関する協議会(管区事業) 教化資料等企画制作委員会 第32回子ども禅インサマーセミナー	管 区 センター センター	福山市 ホロコースト記念館 広島市 アークホテル広島駅南 福山市 絆が深まる宿 和
8				
9	4(火)～5(水)	センター布教協議会・講習会	センター	浜田市 ワシントンホテル
10	10(水) 26(金)	教化活動推進委員会 婦人会中国管区研修会	センター 婦人会	島根県浜田市ワシントンホテル
11	()～() 20(火)	全国教化センター後期連絡協議会(主監会) 禅をさく会	宗務庁(予定) センター	宗務庁 島根県雲南市ラメール
12				
1	下旬	中国管区教化センター報第35号編集会議	センター	
2	5(火)～6(水) () ()	布教委員長会議(管区事業) 教化活動企画委員会 教化資料等企画制作委員会	管 区 センター センター	岡山市 岡山プラザホテル 広島市
3				
4月～翌年3月(毎週土・日) 4月～6月 4月12日(木)		ラジオ放送「今日のこころ 私のこころ」 文化講座 ラジオ法話放送500回記念式典	センター センター センター	RCC中国放送(キー局) 鳥取県米子市NHK文化センター 広島市ホテルニューヒロデン

■センター役員

	統 監	長尾 武士	国 分 寺	〒682-0942 鳥取県倉吉市国府430	☎(0858)28-4183
	主 監	和田 光史	傳 燈 寺	〒689-4233 鳥取県西伯郡伯耆町二部1519	☎(0859)62-7189
	賛 事	瀬田 啓道	雲 光 寺	〒683-0225 鳥取県西伯郡南部町御内谷1205	☎(0859)64-3023
	賛 事	藤島 義信	長 見 寺	〒692-0206 島根県安来市伯太町安田960	☎(0854)37-0515

編集後記

中国管区の諸先輩方のご尽力により続いてまいりました曹洞宗ラジオ法話「今日のこころ 私のこころ」が放送五〇〇回を数え、十周年を迎えました。

幾多の困難を乗り越え、継続して放送していくことは、容易なことではなかったかと拝察致します。執筆していただきました皆様方と、編集に携わって来られた方々に心から敬意を表します。今年度もラジオ法話にご理解をいただき、広くご協力を賜りたく存じます。そしてお聴きいただいている方々の心にふれるラジオ法話でありたいと願っております。

今年度の管長現下の告論に、「ともに思いやり、分かち合う心豊かな社会の実現」とございます。私たちに、世の中の苦しみや悲しみと向き合い、寄り添う生き方が改めて問われているのではないかと感じる次第です。中国管区教化センターは、管区内御寺院様とともに、心豊かな社会を目指し、事業を展開していく所存です。

今後とも皆様方に親しく感じていただける事業となります様、役員一同、更に精進して参ります。引き続きご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。